

令和7年2月第1回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第1号
受理年月日	令和7年2月10日
件名	高額療養費の上限額引き上げ中止を求める請願
請願者の住所及び氏名	松阪市本町 荒木 邦子 松阪市駅部田町 伊藤 大
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	小川 朋子 東村 佳子 吉川 篤博 殿村 峰代 楠谷さゆり 西口 真理 久松 倫生

2025年2月10日

高額療養費の上限額引き上げ中止を求める請願

松阪市議会議長
中島 清晴 様

請願人

住所 松阪市本町

名前 荒木邦子

電話番号

住所 松阪市駅部田町

名前 伊藤 大

電話番号

紹介議員

西口真理
小川 朋子
東村佳子
楠谷さゆり
吉川篤博

久松 倫生
殿村 峰代

(請願の趣旨)

政府は来年度の予算編成において、医療機関での窓口負担を軽減するために上限額を設けた高額療養費制度について引き上げることとしました。自己負担の上限額を今年8月から3段階で引き上げます。例えば年収650万円の場合、8万円台から最終的に14万円台へと、約6万円もの負担増となります。場合によっては、年収の3分の1が医療費負担になるケースもあります。

全世代に影響しますが、とりわけ、がんや医療費助成の対象とならない難病等の患者さんは、身体的にも精神的にも苦しんでいるうえに、家族ともども経済的苦境に陥ります。この制度は治療生活を継続する唯一の命綱なのです。

全国がん患者団体連合会(全がん連)には、「子どもがおり、この子を遺して死ねません。高額療養費制度を使っていますが、支払いは苦しいです。引き上げされることを知り泣きました。毎月さらに多くの医療費を支払うことはできません。死ぬことを受け入れ、子どもの将来のためにお金を少しでも残す方がいいのか追い詰められています」(20代女性、がん患者)などの悲痛な叫びが次々と寄せられています。

また、長期療養中の患者にとって4回目以降に適用される「多数回該当」も4万4400円から7万6800円への大幅負担増となります。治療のため仕事が制限されたり失業したり、収入が激減する中で制度に助けられながら、ぎりぎりの療養生活を送っています。このため、全がん連は政府に対し「多数回該当」の引き上げについて「特段の配慮」を要望しています。

松阪市民にも、現在一定数の方が制度を利用していると推測されます。また、今後予期せぬ疾病で制度を利用せざるを得ない市民も多いと思います。

つきましては、松阪市民の命と健康を死守するために、下記の件について請願させていただきます。ご高配のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

(請願事項)

- 一、 高額療養費制度の上限額を引き上げないよう国に要望してください
- 二、 高額療養費制度「多数回該当」の額を引き上げないよう国に要望してください

